



11月16日・東京競馬場 パドックにて

## 小島友実の あの馬の STORY



### シンラバンショウ

明けましておめでとうございます。今年もグリーンアーチ所属馬達の情報や素顔をわかつやむくお伝えしていただきたいと思つてます。どうぞよろしくお願ひします。

新年最初に紹介するのは昨年11月16日の東京競馬場芝1400m戦でデビューカタツムリ賞を勝ちました。調教や直前のゲート練習の動きが良かつたので、ポーツと出られれば良い勝負になれると思ったのです。

この話すのは管理する新開幸一調教師。最終的には3番人気でしたが、確実な手応えを掴んで迎えた初戦だったようですが、新開師との出会いから振り返りて頂きました。

「牧場で初めて見た時、じぶんかく雰囲気が可愛らしかった。父がサクラバクシンオーで、クラシックボブの近親だから、ペニー卿があつそつと馬体でね。2歳の夏頃にデビューカタツムリを出したら面白そうだなと思つた。ただ育成の段階になつたら、調子が上がつたと思った所で、上がりきらなかつたりして順調に行かないと感じたのですが。でも牧場のスタッフの皆さんが色々工夫して調整してくれました。昨年の頃に牧場へ見に行つたり、トドレボンコーブが出て実が入つてきた感じがあつてね。それで、10月に美浦へ入厩してきました」

「じぶんの馬が良かつたとか、そういう話を聞くと、最後まで脚色は衰えず、着いてホールド。初戦を勝利で飾りましたでした。

「じぶんの馬が良かつたとか、そういう事を聞く必要がない程良い内容だつたと聞いてます。チャンスがある時にきちんと勝つたのは大きかったですよね」

このレースの後、中京のレースへ向かう話も浮上してしまった。クラシックボブで11月19日のノーザンハンマー大賞に放牧へ出ました。

「一度レースを走つたが、馬体が細くなつてしまつたし、ソトモレース前から少し出つたので、ちょっと一息入れた方が良いという判断です」

「ノーザンハンマー大賞には状態次第ですが、もう少し距くのが可能な性能を秘めてる馬なので、これからも応援よろしくお願ひします」

この馬が満開の桜の下を、先陣を切って走る姿を想像するとワクワクします。頑張れ！ クラシックボブ！

#### profile

グリーンチャンネル「トランクマンTV」(毎週金曜19:00~20:30)、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」ほか競馬ファンには馴染みの顔。平日は地方競馬、週末は中央競馬、そしてプライベートでも競馬三昧の日々を送る。本業のアナウンスのほかにも、競馬ブックのコラム「小島友実の好奇心keiba それいけ現場」の連載など活躍の場を広げている。

デビューカタツムリ戦のパドックでも落として、実際にゲートも速かつたね。それでもスタートを見せます。

「実際のゲートも速かつたね。それも物見をしたり、氣を遣しながらはなく自分のワクワク感をフォームで逃げていたのが、これなら大丈夫、じぶん思って見ていました」

そこで、馬身程度のワードを保つて直線へ入ると、最後まで脚色は衰えず、着いてホールド。初戦を勝利で飾りました。

「じぶんの馬が良かつたとか、そういう話を聞くと、最後まで脚色は衰えず、着いてホールド。個人的に」

「シルバーバー」という答えが、

「シルバーバー」という答えが、個人的に

は、いつも来るのは想つていなかつたので、

ね。2戦目のパドックも注目してみたい

かわいじ衝撃的でした(笑)。

最後に今後の見通しを伺つました。

「ノーザンハンマーがある所がこの馬の持

ち味。距離もマイル位までかなしく

れればと思つてます。新馬戦であれ

だけ強い勝ち方をしたので、やはり

桜花賞を目標したいですね。次戦

は状態次第ですが、もう少し距くのが可

能性を秘めてる馬なので、これからも

応援よろしくお願ひします」

この馬が満開の桜の下を、先陣を切

って走る姿を想像するとワクワクしま

せいでしたが、新開師に普段の様子を伺つ事が出来ました。

「基本的に大人しい、優しく可愛い

ところが、馬房に行くと驚いてくれる」

「馬房に行くと驚いてくれる」

「馬房に行くと驚いてくれる」